

令和7年度

明保中学校

地域とともにある学校づくり  
第1学年

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「自分の身近な生活（学校・地域など）をより良くしよう」  
（活動名）

ねらい：「問いをつくる」ことを丁寧に学び、そこから身近な生活を振り返り、より良くしていこうという姿勢を養う。フィールドワークの中で、課題を見つけたり、情報収集をしたりしながら、地域をよく知る機会とする。



【6月～7月】

「経済産業省が学校教育機関での探究学習などの高度化推進を目的に、探究学習等に資するサービスを提供する事業者に対し、事業費等に要する経費の一部を補助する事業」を利用し、「問いのつくり方」についてカードゲームを通して学びます。基本の問いの作り方から、「学校×〇〇」というような発展をさせながら、友達の「問い」に共感をしていく場面も見られました。「問い」の作り方は、総合的な学習の時間だけではなく、各教科でも生かせる力になりますので、大切な基本を学ぶことができました。

【2月13日】

西東京市について興味があることや疑問を中心に「問い」につながる学習を進めていきます。「課題設定」や「情報収集」につながるフィールドワークを計画していきます。テーマを考える中で、Gemを使用する場面もあり、やりとりをしながら自分の問いが磨かれていく実感を得ました。



【2月20日・27日】

学年閉鎖の影響もあり、フィールドワークが中止になってしまいました。代わりに3月7日の明保フェスⅡに向けての掲示物作成（中間発表）に入りました。小学生や地域の方からの反応（情報収集）をもとに、整理分析し、自分たちのテーマをさらに深めていきます。



## まとめ

残念ながらフィールドワークを実施することはできませんでしたが、「問い」をつくることが各教科でも生かされたこと、グループで「問い」を磨く中でも「新しい道ができるらしいよ」「バスも便利になるのかな」「運転手さん足りなくて路線減ってるんじゃないかって」「それ、矛盾してない？」と考えが深くなる協働の良さを経験できたことが実感として残りました。掲示物に対する小学生や地域の方の反応も楽しみなところで、そこから今年度のまとめに入っていきます。